



園長だより

NO.20 126.9.30(Thu)

先週の金曜日、ふじ組さんが修園旅行(豊橋市にあります。「のんほいパーク」)に行ってきました。

今年度はちょっと趣向を変えて、子ども達が自分達で行きたい所、観たい動物を考え、グループごとに意見を出し合いコースを

あまりにも子ども達が喜んで、生き生きしていたので、ちょっと紹介させて下さいね!

決め、全て子ども達主体で計画しました。2学期に入ってから、まずグループを決めました。クラス枠を超えて、仲良しの友達と3クラスを6つのグループに分けました。グループごとに園内の拡大コピーした地図に釘付けになりながら、それぞれ行きたかった動物の意見を出し話し合いましたが、自分の観たい動物が時間の都合上ルートに入らず、がっかりの子も。そんな時は、すかさずグループの子が「時間があたら行こうよ」と、相手の気持ちを汲んで声を掛けていました。ひとつの事を決めるのに、自身を主張するばかりでなく、相手の意見も受け入れる。そんな経験から、心が柔かくなり、思いやりも生まれていくんですね。

ある時、私がふじ組の廊下を通り掛かり、教室内を見てみよと……。10人位のグループごとに、子ども達が頭を突き合わせて綺麗に丸くなり、懸命に話し合っているんです。例えば不適切かもしれませんが、まるで砂糖にたかるアリみたいに……。何をしているのかとびっくりしてよ〜く見ると、動物園の地図を中心に、互いに意見を交わしつ


それはそれは真剣に決めていたんですね。


そんな字余曲折を経て決まったコースです。当日も一人ひとり地図を片手に、あちだのこちだの、右だの左だの。それぞれが主体、主役となって行動出来ました。それでも、観る動物全てに大喜びで、ちょっと脱線もして他のルートの動物も見たくなったりで、結果5時間では全然足りない程でした。

触れ合いコーナーでテンジクネズミを抱っこさせて頂いたり、ウサギにタッチしたり、頑張って歩いたご褒美に、汽車にも乗って更に大満足。帰りのバスに乗る時に子ども達が、「あ〜〜丸一日楽しかった〜」と、満面の笑顔で言ってくれ、私達にとっての最高の讃辞を貰いました。

今回の修園旅行は、正に文字通り「園生活を修める旅行」として、**園生活**の集大成の旅行になったなあとしみじみ嬉しく思いました。ともすると、子ども達より私達の方が充実感を持ったかも。子ども達同士考え、相手の意見を受け入れ、互いに折り合いをつけて判断していく。この経験こそ、社会に出てから一番大切なことではないでしょうか。

そんな事を、その日一日の子ども達の輝く笑顔が教えてくれました!

PS.  私の石歩計、堂々の15600歩でした! きっと子ども達の足だったら20,000歩は歩いたかと思えます!

 お天気も味方してくれて、本降りの雨予報だったにも拘らず、終始曇りで、最高の遠足日和でした!